

Asian Diversity No. 18 by ASNET

「9.6%」

アジアの隣人を知る写真 (中国編)

中国では、中秋節の前、家族や先生、知人に月餅を送る習慣がある。この時期、各地のスーパーでは写真のような特設売り場ができる。私はクルミの入った月餅が好物であった。

中秋節に配られるこの月餅、問題も多い。それは、月餅自体は小さいが、非常に豪華な包装紙に入れられていることが多いからである。

ある日、本当に失礼と思いつつ、友人から頂いた月餅を実際に量ってみた。その結果、月餅4個の体積は約432立方センチで、包装箱の体積は約4,500立方センチだった。

月餅が包装箱に占める割合は9.6%であった。

こうした現状を受けて(かどうかわからないが)、政府は「月餅」規定を2005年(2008年改定)につくった。この規定では、月餅と箱の間は2.5センチ以内、包装は3重まで、箱の価格は月餅の価格の20%を超えないなど、たいへん細かいことまで定められている。

この規定ができてから、友人からもらう月餅は幾分シンプルなものが多くなったような気がした。それ以上に、包装より味で勝負しようという業者が増えたのか、以前よりおいしくなった気もした。

何ごとも中身が重要なのである。



写真 月餅の特設売り場

文・写真: 卯田宗平

日本・アジアに関する教育研究ネットワーク(ASNET機構)は、研究者や学生が分野を超えて繋がり、アジアに関係する教育や研究の新たな可能性を探るために設立された東京大学の機構です。

アジアのことを広く、深く知りたい学生の皆さんに研究科等横断型「日本・アジア学」教育プログラムも実施しています。詳しくは下記のURL:

<http://www.asnet.u-tokyo.ac.jp/>

ASNET機構

検索

Relay Column

ワタシのオシゴト / 第74回

Rings around the UT

本部学生支援課体育チーム検見川総合運動場
担当係長(現・本部学務課学生総務チーム)

安藤 昭浩さん

検見川総合運動場の「顔」

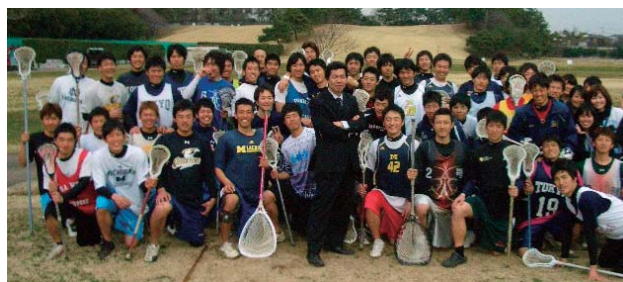


ようこそ! 検見グラへ

私の勤務地は千葉市の検見川総合運動場です。ワタシのオシゴトは、昭和13年に東京大学の先輩方が「我々のグラウンドは我々の手で!」をスローガンにツルハシを担いで造ったこの運動場を運営していくことです。運動場はサッカー場やテニスコートなど多くの競技場と約200名合宿可能なセミナーハウスがあり、私以下18名のメンバーで「良い思い出を持って帰れる運動場」を目標に利用サービスを行っています。

私の仕事での表情は様々です。元気な学生達を出迎える時の笑顔、雨天時に水田状態のグラウンドを見て悩む顔、食事の提供をした際の利用者の反応を期待する顔、調子に乗って部屋を汚した学生を叱る顔、周辺住民からの強烈な苦情に誠実に対応するマジ顔、そして、不法侵入ゴルファーに対して激怒する大魔神顔。このように毎日バラエティな表情で仕事をしています。

このような私ではありますが、是非、皆さんも検見グラにお越し下さい。「笑顔」でお迎えいたします。



合宿中の運動会ラクロス部のみなさんと

【編集部註】安藤昭浩さんは平成24年4月1日付で本部学務課に異動されました。この原稿は平成23年3月に執筆されたものです。

得意ワザ: 宴会芸

自分の性格: 穏やかそうに見えて激熱!

次回執筆のご指名: 秋本真利さん

次回執筆との関係: 若い頃からの朋友、または腐れ縁

次回執筆の紹介: いつも明るく、異常に元気な人。

真冬でも半袖で・・・。